ポケモン増殖　　なりすまし編

出演　タッ君　　タ「

　　　カッチ　　カ「

　　　おじさん　お「

❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚❚

あるところにタッ君という男の子がおりました。

タッ君は中学生なのになぜかランドセルをしょっている、ちょっと変わった子です。

　（次へ）

タッ君は、ポケモンが大好きで，毎日インターネットを使ってポケモンの情報を探しています。色々なサイトに行っては情報募集の書き込みをしていました。ある日，メールアドレスを教えてくれたら取って置きの秘密を教えてあげるという返事があり，メールアドレスを教えてしまいました。

タ「どんな情報教えてくれるのかなぁ？楽しみだな。」

　ピロリン，ピロリン。早速メールが届いたようです。大丈夫なんでしょうか。なんだか心配ですねぇ。

タ「来た，来た。どんな情報だ。ワクワクするなぁ。」

タッ君は急いでメールを開きました。

カ「はじめまして　カッチです。

ポケモン増殖の秘密を教えちゃうね。

まず，ポケウォーカーに増殖したいポケモンを預けます。

すると，レポートに記憶しようとするので，完全にレポートに記憶する前に電源を切

ります。

操作は，これでおしまい。ボックスとポケウォーカーの両方に預けたポケモンがいる

よ。もっと凄い情報知りたかったら，メール頂戴ね。」

タ「オーッ！スゲェ！ナイスな情報有難う。早速やってみよう。何々・・・。」

　タッ君は，急いでメールの指示通りにポケモンを増殖させてみました。するとどうでしょう。見事にポケモンが増殖しているではありませんか。タッ君は大喜びです。」

タ「スゲェ！スゲェ！ホントに増えたよ。これはカッチ君信用できるね。カッチ君いい人

だな。もっと凄い情報教えてくれるって言ってたなぁ。教えて貰おうっと。そうそう，

お礼の言葉も忘れずに。何事も礼儀が大事だからね。」

　タッ君は，カッチ君にお礼のメールを書きました。

タ「はじめまして。佐賀市に住んでいるフルカワ　タッ君です。中１です。秘密を教えて

くれてアリガトウ。また、別の秘密も教えてください。」

　タッ君は，カッチ君に失礼のないようにと自己紹介とお礼の言葉を添えてメールを出しました。

ピロリン，ピロリン。早速返事が届きます。

カ「メールありがとう。カッチです。すごい偶然だね。ぼくも佐賀市に住んでる中１だよ。

新しい秘密は、メールでは、教えにくいから会って教えるよ。どこがいい？。」

なんだか怪しいメールですが，タッ君はすっかり信用しています。カッチ君に会う気満々のタッ君は，すぐさま返事を書きました。

タ「メールありがとう。タッ君です。モラタウンで会いましょう。今度の日曜日十時で，

どうでしょう？分からないと困るので，僕の写真もいっしょに送ります。」

タッ君は，自分の写真も一緒に送りました。タッ君は次の日曜日が待ちきれない様子です。何事もなければいいのですが。

次の日曜日。

タ「いよいよ新しい秘密を教えて貰えるぞ。楽しみだなぁ。カッチ君早く来ないかなぁ。」

　タッ君は，そわそわしながらモラタウンの前でカッチ君が来るのを待っています。そこへ知らないおじさんがやってきました。

お「君がタッ君かい。おじさんはカッチ君のお父さんだけど。カッチ君が怪我をして来ら

　　れなくなったから。代わりに来たんだ。怪我は大したことないから大丈夫。カッチ君

が家で待ってるから一緒に行こう。」

これは怪しいおじさんですね。タッ君どうしたら良いのでしょう。皆さんならどうしますか？考えてみてくださいね。今日のお話はこれでおしまい。